



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和6年度地域でつながる家庭教育応援事業 家庭教育応援プロジェクト
○親子の学び応援講座（ひよこ club 「進路学習会」）

講座の概要

日時 令和6年11月30日（土）15:00～16:30
場所 音屋ホール（相馬市）
主催 ひよこ club 共催 相馬市立学校PTA連絡協議会
後援 福島県教育委員会
参加者 相馬市内の児童・生徒 保護者 学校関係者等 合計43名
講師 飛鳥未来きずな高等学校 教頭 阿部 正孝 様
星槎国際高等学校 副校長 安部 雅昭 様
// 相双キャンパス長 須田 心作 様
// 仙台学習センター副センター長 松浦 智広 様
飛鳥未来きずな高等学校・星槎国際高等学校の生徒さん4名



講演（40分間）

講師：飛鳥未来きずな高等学校 教頭 阿部 正孝 様
星槎国際高等学校 副校長 安部 雅昭 様

○飛鳥未来きずな高等学校、星槎国際高等学校それぞれの理念や教育活動の紹介を通して、通信制高校について学ぶことができました。

- ・自分で選べるスクーリングの形態、自由な服装
- ・自分に合ったものに参加する学校行事
- ・各種資格も取れる課外学習
- ・苦手を克服するのではなく、得意を伸ばすという姿勢
- ・様々な興味に対するゼミの開設 等

通信制高校は、全日制とはまた違った通いやすさと様々な挑戦の機会がある学校です。

パネルディスカッション（40分間）

・コーディネーター：ひよこ club 会長 ・パネラー：両校の先生2名 両校の生徒4名

パネラーは、中学生の頃に様々な理由で不登校を経験した生徒さんたちでしたが、自分自身の進路を切り開くために、自分で調べそれぞれの学校へ入学しました。入学前は、体調や心のこと、コロナ禍など登校できなかった理由は様々でしたが、高校生になってみんな変わることができたそうです。

それまでは、周りとの違いから自分を責めたり、辛い思いをしたりしていましたが、高校の先生方や先輩とのかかわりの中で、自信を取り戻すことができました。自分の好きなことを将来に生かしたい、周りの友達の姿から自分の新たな面を見付けた、職業説明会で友達から言われた一言で進路を見付けたなど、未来と希望を見つけれられたという話をしていました。

今回の親子の学び応援講座を通して

過去最多 34 万人ともいわれる不登校の子どもたちがいる中で、相馬市では、大人が子どもに寄り添っていかなくてはならないという気持ちで活動しています。保護者と学校が手を取り合って、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策を行っていました。

当日も保護者の方と一緒に来ていたお子さんがおりました。パネラーの生徒さんの話を聴いて将来や未来に希望が持てたのではないのでしょうか。不登校というデリケートな内容でしたが、貴重な話に触れることのできる有意義な研修会でした。



写真提供：相馬市立学校PTA連絡協議会事務局 様

